

北海道医歌人会詠草

夢を生きる

鉛路 児玉 昌彦

節曲げず人生最後の一幕を演じきるとや者医学徒は
自らのからだを実験材料に究めんとする医学の秘法
騎馬に槍風車に戦挑みたるドン・キホーテの夢のあとさき
がんの謎究めんと共に四十年そのがんに妻を喪くす無力さ
最後まで言へざりしこと棺に向け我に過ぎたる妻なりしとぞ

嫁ぐ娘に

栗山 高田 剛太

小春日の中微笑みて歩む娘に陽はやはらかに降りそそぎたり
神宮の庭に銀杏の葉は落ちて清しき大気を胸に留むる
ウエディングドレスの淡き桜色吾が娘のその名も桜なりけり
ブーケ持つ娘の姿吾が胸の奥に刻みて立ちつくすなり
主なき部屋に残れる額縁の幼き笑顔に面影を見ゆ

当番医

旭川 稲積 文子

後期高齢者その名に何の意味ありや当番医もまだ引受けている
真夜中に泥酔女に殴られて搬送され来し男は無口
糞糞と同伴の泥酔女にからかわれても診る事のみが吾が仕事なりき
何故の逃避かひとり真夜中をパソコンゲームに時奮われている
指示をして防寒コートを脱がせれば刺青の肩あらはなる少女の肌よ

女

江別 三宅 浩次

ススキノの喧噪の中四十年耐へ来し女の横顔を見る
近頃の女性は背が高くなりちよつと背伸びしそ比べ見る
様々な化粧した顔とすれ違ふあれあの女優似た顔があり
百歳の長寿の秘訣聞かれしをそは女よと笑い飛ばす男
若き日のやんちゃを隠し若者に「したり顔」して恋愛論を

鳥の巢

札幌 山口 康德

鳥の巢ゆ飛びし鳩らは何希ふ暗雲消えし永き平和を
大いなる期待を抱き施行せし平成の合併効果は如何なるものや
ふるはざる成績なげき切齒せる選手の心ロンドンを目指す
内外に満み溢れたる食偽装絶ゆることなき良心の麻痺は
国民の購買力弱きに目を覆い消費税上げんとする策なき為政者ら

よぼよぼ

札幌 小国 孝徳

理科系の吾らも否応なく読まされき「萬葉集」「花伝書」また「源氏物語」
風強き石狩湾に向ひ建つ義弟の墓を撫でつつ巡る
妻のなき翁とでも哀れむにか階段半ばに荷を持ち呉れぬ
銃爆撃避けし山より望みたるセビツク河だよ鰯もひそむよ
右ひだりを仲居に支へられ宴会場出でて来りぬもはやよぼよぼ

藻岩遠足

札幌 古屋 統

秋日和妻にひる飯握らせて幾十年ぶりの藻岩遠足
自動車道ロープウェイに離れたる養老院脇の歩行登山路
三十三ほとけ数へて山頂へ五年生の喧騒なお耳に在り
放課後を藻岩十八番往復のスキー部員の汗沁める道
ロープウェイ「敬老無料」廃止されケチ老夫婦徒歩の登山

美唄ロータリー三十五周年

美唄 吉村 誠治

「宮島沼の唄」と名付けしモニュメントに創立三十五年の思ひを込める
我が町の「おぼろづき」と「アスパラ」を記念行事の御土産とする
井門会員の謠ふ「高砂」のびやかに三十五周年の宴始まる
庭園を一幅の繪なりと足立金康の熱き思ひを美術館に知る
大観の没五十年の特別展名ある日本画次々とありたり

ヤブカンゾウ

札幌 浜島 泉

この蕃明日にぞ聞くわれの目の高さに揺るるヤブカンゾウは
花ますのショウブは散りて結実し坊主頭が秋風に揺る
伴走と結び笑顔のゴール前八月末日盲ランナーは
早朝の徒歩通勤に汗ばみて扇子取り出すバスターミナル
車いす法事外出せし話主治医の謂ひに破顔合掌